

**2001年度【2001年8月1日～2002年7月31日】
特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）
事業報告書**

2001年度を振り返って

2000年度に、アリスセンターの目的として、「地域社会の自立に向けた社会システム・制度の実現」（中期目標としては「神奈川におけるNPOと行政の協働システムの本格的稼働」と「神奈川におけるNPOと企業の協働システムの本格的稼働」と、「地域社会における多様な主体間の合意形成」（中期目標は「地域のNPOシップの養成」と「NPOの合意形成・政策提案力の向上」）を設定し、2001年度はこうした目的、中期目標の具体化を試みました。

NPO間の協働の拠点としてのNPOスクエアの開設（事務所移転02年2月、本格的開設02年7月）かながわボランティア活動推進基金21のあり方をNPO、県行政、基金21審査会・幹事会が同じテーブルについて検討する「基金21プラットホーム」づくりへの参加、神奈川子ども未来ファンドの設立準備など、新たなシステムづくりに多くのエネルギーをさきました。また、緊急雇用地域特別対策事業でもある市民活動実態調査（かながわ県民活動サポートセンターからの受託事業）も、01年度の大きな事業となりました。

他方で、らびっとにゆうず（メールマガジン）の配信先の拡大、たあとる通信（季刊）の頒布の拡大などを神奈川県内にとどまらず全国に向けて展開しました。こうした成果を、会員の拡大や、会員の事業への参加など、アリスセンターの運営基盤の強化につなげることまでにはいたりませんでした。また、アリスセンターの財政構造の見直しを含めた中期計画の検討も、十分に行うにはいたりませんでした。

目標	中期目標 (3～5年後)	当面の主要テーマ
地域社会の自立に向けた社会システム・制度の実現	1 神奈川におけるNPOと行政の協働システムの本格的稼働	NPOと行政の協働システムの提案・実施・検証 行政資金の活用法の提案・制度化
	2 神奈川におけるNPOと企業の協働システムの本格的稼働	NPOと企業の協働システムの提案・実施・検証 民間資金の開拓
地域社会における多様な主体間の合意形成	3 地域のNPOシップの養成	NPOの役割やマネジメントの重要性の普及
	4 NPOの合意形成・政策提案力の向上	県内の民間支援組織との連携 草の根組織のコンサルティングプログラムの開発

会員等の状況

1. 会員数の経年変化

	1999年度末 (2000年7月末)	2000年度末 (2001年7月末)	2001年度末 (2002年7月末)
正会員	115 (153口)	120 (156口)	114 (148口)
準会員	139	152	159
賛助会員	0	1 (1口)	1 (1口)
合計	254	273	274

2. 2001年度内の会員数の増減

	2000年度末 (2001年7月末)	2000年度中の 入会者(団体)	2000年度中の 退会者(団体)	2001年度末 (2002年7月末)	増減
正会員	120 (156口)	10	16	114 (148口)	- 6
準会員	152	24	17	159	+ 7
賛助会員	1 (1口)	0	0	1 (1口)	0
合計	273	34	33	274	+ 1

退会者は会費未納により、定款にもとづいて退会とみなした件数も含む

3. らびっとにゆうず配信状況

	会員		資料交換		その他		合計	
	2000 年度末	2001 年度末	2000 年度末	2001 年度末	2000 年度末	2001 年度末	2000 年度末	2001 年度末
メールマガジン	165	188	12	14	74	661	251	863
F A X	83	56	0	7				
郵送	25	23	0	0				

4. ホームページアクセス件数

	累計	年度内
2000年度末(2001年7月末)	9900	9900
2001年度末(2002年7月末)	22000	13000

2001 年度事業一覧

事業項目	事業・プロジェクト	頁
1.まちづくりに関する 政策等の提言	(1) かながわボランティア活動推進基金21に関する政策提言	4
	(2) 神奈川子ども未来ファンド設立準備	4
2.まちづくりに関する 相談・コンサルティング	(3) 市民活動相談・ヒアリング対応	6
	(4) 川崎市地球環境保全行動計画推進会議の運営等に関する業務(受託事業)	6
3.まちづくりに関する 情報収集と提供	(5) ホームページの運営	7
	(6) 「らびっとにゆうず」の発行	8
4.まちづくりに関する 調査研究	(7) 勤労者マルチライフ支援事業(受託事業)	11
	(8) 市民活動実態調査(神奈川県内のボランティア団体の実態と行政との協働に関する調査)(受託事業)	11
5.まちづくりに関する 講座・研修等の企画・運営	(9) 保土ヶ谷区男性ボランティア養成講座(受託事業)	13
6.まちづくりに関する 資料等の発行	(10) 「たあとる通信」の発行	13
7.まちづくりに関する 講師等の派遣	(11) 講師等の派遣	15
8.市民団体等に対する 支援・助成	(12) 相模川倶楽部事務局支援	16
	(13) かながわNPO法研究会事務局	16
9.その他	(14) NPOスクエアの開設	17
	(15) その他	19
総会・理事会等開催記録		19

2001 年度事業の内容

1. まちづくりに関する政策等の提案

(1) かながわボランティア活動推進基金 21 に関する政策提言

神奈川県が 2001 年 4 月からスタートさせたかながわボランティア活動推進基金 21 に対して、アリスセンターでは 2001 年 3 月～7 月にかけて、基金 21 の目的やしくみを NPO と協働で検討していく必要があることを提案してきました。2001 年 8 月以降は、それまで県への協議等で協力してきた県内の支援組織などとともに「基金 21 NPO サポートーズ」を発足させ、かながわ県民活動サポートセンターが呼びかけた「基金 21 サポート会議」に、「サポートーズ」とは異なる提案を県に対して行っていた 2 団体とともに参加しました。「基金 21 サポート会議」での検討を踏まえて、2002 年 6 月には、NPO、県、審査会・幹事会等で基金 21 の検証と見直しを行う「基金 21 プラットホーム」が設置され、NPO 側の組織として「基金 21 NPO 検討会」が発足しました。これをもって「基金 21 NPO サポートーズ」は解散しました。

「基金 21 サポート会議」における 3 団体の議論が中心となり、広く県内 NPO に情報発信を行ったり、問題提起をする機会が少なくなったことは反省点として残りました。

【経過】

2001年8月	基金21NPOサポートーズ発足 基金21サポート会議スタート（以後2002年5月まで約10回開催）
2002年2月	基金21審査会・幹事会と基金21サポート会議の意見交換
5月	基金21を考える市民フォーラム（基金21サポート会議主催） 基金21NPO検討会発足
6月	基金21協働会議（基金21プラットホームにおけるNPO、県、審査会・幹事会の各代表者が集まり議論する場）第1回開催

(2) 神奈川子ども未来ファンド設立準備

神奈川子ども未来ファンドは、目的を共有する複数の NPO がネットワークを形成し、新しい組織を立ち上げ、資金を集め、配分する仕組み＝オルタナティブファンドを、日本ではじめて作りだそうとする試みです。アリスセンターを含めた県内 8 つの団体により「神奈川子ども未来ファンド設立準備委員会」を発足させ、毎月 2 回、打ち合わせを行い、サポーターを拡大し、仕組みづくりのための準備を行ってきました。

2002 年 5 月 17 日には「報告会」を開催し、企業、NPO 関係者などが全国から約 100 名集まり、各方面からの期待の大きさを伺わせました。その後、飲食店組合の協賛を得ての募金箱の設置（約 30 箇所）、リサイクル寄付、奉仕団体からの寄付、寄付イベン

ト等を実施する他、複数の企業との寄付の仕組みの話し合いを続けてきました。

【経過】

2001年11月	これまでの「子どもファンド研究会」から「神奈川子ども未来ファンド設立準備委員会」を正式に発足 協力依頼：神奈川新聞社／ソニー幼児開発センター／神奈川県高等学校教職員組合
2002年1月	協力依頼：ベネッセ 横浜ユネスコ協会理事長よりヒアリング
2月	協力依頼：生活彩業フォーラム／横浜商工会議所
3月	協力依頼：岩崎学園／川崎信用金庫／ソロプチミスト横浜未来支部
4月	協力依頼：モトスミ・プレーメン商店街／GAMBANPO／川崎市市職労組合／日本青年会議所神奈川ブロック協議会
5月	モトスミ・プレーメン通り商店街で神奈川子ども未来ファンドリサイクル寄付キャンペーン（3日～5日） 神奈川子ども未来ファンドプレセミナー（10日 会場：岩崎学園） 神奈川子ども未来ファンド報告会（17日 会場：岩崎学園） 協力依頼：自治労神奈川県本部
6月	協力依頼：モトスミ・プレーメン商店街「がんばれ商店街モデル事業」検討委員会／高津宮前飲食店組合役員会／日本青年会議所神奈川ブロック協議会地域主権実践委員会／神奈川ユネスコ協会総会／（株）清水康益社／川崎市職員自主研究グループ
7月	ソロプチミスト横浜みらいより神奈川子ども未来ファンドへ寄付 神奈川子ども未来ファンド紹介ビデオ撮影 協力依頼：（株）エス・エヌ・シー店長会議／連合神奈川

2. まちづくりに関する相談・コンサルティング

(3) 市民活動相談・ヒアリング対応

01年度より市民活動相談は会員（正会員・準会員・賛助会員）を無料とし、非会員に対してのみ1時間3,000円の有料としました。行政、企業等からのヒアリングは原則として1時間10,000円で実施しました。

【ヒアリング・視察対応一覧】

2001年9月	慶応大学大学院学生から、NPOと企業の協働についてのヒアリング
10月	政策大学院大学学生からのヒアリング
12月	国土技術研究センターからのヒアリング
2002年2月	神奈川県環境学習リーダー連絡会からのヒアリング 大阪ボランティア協会からのヒアリング 神奈川生活協同組合連合会から、子ども関連NPOについてのヒアリング
3月	豊中国際交流協会からの視察
4月	財団法人水と緑の惑星保全機構からのヒアリング
5月	日本NPOセンターからの視察
6月	東京理科大学学生からのヒアリング
7月	北海道旭川NPOセンターからのヒアリング 神奈川県科学技術振興課からのヒアリング 横浜市市民局地域振興課から、市民活動支援についてのヒアリング 社会創造ファンドから、助成金のあり方についてのヒアリング

(4) 川崎市地球環境保全行動計画推進会議の運営等に関する業務（受託事業）

川崎市からの受託事業。川崎市では1998年に地球環境保全行動計画を策定し、以後地球環境保全行動計画推進会議（市民部会、事業者部会、学校部会、行政部会の4部会で構成）が、行動計画推進のための活動を展開しています。アリスセンターでは、昨年度に引き続き、推進会議各部会の事業支援、川崎市地球環境フォーラム（2002年3月26日実施）の企画運営支援を行いました。

3. まちづくりに関する情報収集と提供

(5) ホームページの運営

2000年度に現在のホームページにリニューアルし、2000年度は9,900件のアクセスがりましたが、2001年度は約13,000件のアクセスとなりました。

ホームページでアリスセンターを知っての問合せ等も増え、PRや情報提供の手段としてホームページが定着しつつあります。トピックスやイベント情報など、らびっとにゆうず掲載情報は更新したものの、その他は更新が滞り、新情報を掲載できないままに1年が過ぎたものもあります。特に「紛争地図」など県内の市民活動情報については、情報収集・提供ともに不十分となりました。

【ホームページアクセス件数】

	累計	年度内
2000年度末(2001年7月末)	9900	9900
2001年度末(2002年7月末)	22000	13000

【ホームページメニュー】

は2001年度の新規メニュー

	内容
トップページ	トピックス：らびっとにゆうずの「トピックス」を掲載(月2回更新) お知らせ：アリスセンターの発行物紹介(随時新情報掲載) 注目：助成金募集、アリスに届いた報告書、「抗議」「署名」「協力」の呼びかけ(月2回新着情報掲載) 今週のアリス：アリス事務局の日常をお伝えする人気コーナー(月2回更新)
イベント情報	将来、来月、今月、過去、昨年度以前で分類(月2回新着情報掲載) アリス注目の最新イベント情報(随時更新)
イベント情報提供	イベント情報掲載依頼をホームページから直接入力
メールマガジン配信	メールマガジン「らびっとにゆうず」の配信申込みを直接入力
神奈川子ども未来ファンド	神奈川子ども未来ファンドの趣旨や参加団体、活動報告等(随時更新)
基金21	かながわボランタリー活動推進基金21に関する提案内容等を掲載
たあとる通信	たあとる通信バックナンバーの内容紹介(随時更新)
らびっと通信	1988年のアリスセンター発足から2000年12月まで月2回発行してきたらびっと通信バックナンバー一覧と特集タイトルのカテゴリー検索 らびっと通信の一部記事の全文紹介
紛争地図	神奈川県内各地で起こっている問題に対する市民の活動を紛争マップで地域別に紹介し、活動団体ホームページへのリンク 2001年度の新情報は、戸塚・横浜ドリームランド跡地利用問題のみ
相談窓口	アリスセンター相談業務紹介 他団体相談窓口案内(HPへのリンクあり) ・「新しいライフ・スタイル(コウハウジング)」のライドショー ・せるふ・えすえすていーむ(心の相談室) ・ふるさと環境市民の会出前講座 ・ティーンズポスト(10代対象のレターカウンセリング) ・障害者自立生活支援ヒューマンコミュニケアセンター・川崎 ・横浜りすの会 ・かながわ女のスペースみずら

	<ul style="list-style-type: none"> ・下宿屋バンク ・神奈川県国際交流協会 ・かながわ県民活動サポートセンター
関連団体	アリスセンターが事務局を担ってきた市民団体を紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川森林エネルギー工房 ・ファイバーリサイクルアーカイブ ・ファイバーリサイクルネットワーク ・ピアネット ・市民ネットワーク相模川 ・かながわNPO法研究会
リンク集	県内各種団体ホームページへのカテゴリー別リンク集(2000年度掲載数 2001年度掲載数) 環境 16 17、反原発 1 1、平和 1 1、芸術文化 0 0、人権 0 0、福祉 2 2、国際関係 2 2、男性・女性 0 0、教育・子ども 4 6、まちづくり 1 3、医療・健康 2 2、災害 0、市民活動・NPO 1 1、情報・通信 0 2、地方自治 0 1
推薦図書	アリスセンター関連図書(HPから購読申し込み可能) 他団体関連図書
エコ度チェック	「地球を救う 127 の方法・日本版」(93年にアリスセンターが事務局となって発行したリーフレット)からピックアップした項目でのチェック・判定
アリスセンター	理事会報告(月1回開催)、事務局日誌(月2回更新)、事業内容・委託事業 あゆみ(年度別主要事業一覧)、総会報告、確定申告、設立趣旨書・定款、理事・スタッフ紹介、地図、入会案内
メール送信	アリスセンター宛メールをホームページから直接入力

(6)「らびっとにゆうず」の発行

県内市民活動イベントと注目すべき県内の動きを伝える「らびっとにゆうず」を、毎月2回、メルマガ、FAX、郵送で配信しました。(メルマガは会員以外の希望者にも無料配信、FAX、郵送は会員のみ)。配信対象を会員外にも拡大したことで、配信数は年度末で863件となりました。

全イベントの44%が横浜市内開催と情報に偏りがありましたが、年度末にHPに「イベント情報掲載依頼」の頁をつくったことで、掲載依頼者が他地域からも増えてきました。注目すべき県内の動きを伝える「とびくす」の情報内容が「事務局便り」のレベルにとどまっていた。

【らびっとにゆうず配信状況】

	会員		資料交換		その他		合計	
	2000年度末	2001年度末	2000年度末	2001年度末	2000年度末	2001年度末	2000年度末	2001年度末
メールマガジン	165	188	12	14	74	661	251	863
FAX	83	56	0	7				
郵送	25	23	0	0				

【らびっとにゆうずとびっくす一覧】

2001.9.5	アリスセンター2001年度総会(9月28日)~新たな方向性を提案します!
2001.9.20	テロ絶対反対!「報復戦争反対」平和を!「平和の白いリボン」をつけよう! /テロにも報復戦争にも反対!市民緊急行動 /被災地 NGO 協働センター 「同時多発テロ」市民支援委員会立ち上げ /アジア太平洋資料センターアメリカ「同時多発テロ」事件についての声明 /「戦争と女性への暴力」日本ネットワーク緊急アピール
2001.10.5	アリスセンター2001年度総会が開催されました。
2001.10.20	神奈川で広がる 報復戦争に反対する平和の白いリボン運動 市民活動実態調査受託に伴う臨時職員の募集 子どもファンド研究会からのお願い たあとる通信4号、11月5日発行!!
2001.11.8	基金21 第3回「基金21サポート会議」が開催されました。 藤沢市市民活動推進センターの運営団体の公開選考 報復戦争に反対する神奈川の動きを伝えるHPが開設されました。
2001.11.20	藤沢市市民活動推進センターの運営団体決定 かながわボランティア活動推進基金21に関する情報提供について 第5回の基金21サポート会議が開催されます
2001.12.5	「アメリカの戦争をやめさせよう!学生・市民の会」からの参加 「カワラノギク」の保全を考えるHPができました。 NPO共同事務所(NPOスクエア)入居団体募集!
2001.12.20	「県内のボランティア団体等の実態と行政との協働に関する調査」実施中 中原発全4基すべての運転を止めること、中部電力、国に要望を出して下さい。 横浜市でも市民が市長をつくる動きが始まっています。 JFSA(海外衣料支援センター)から緊急支援カンパへの協力呼びかけ 多摩川のカワラノギク保全のための緊急アピール 11月30日の「基金21サポート会議」の議事録ができました。
2002.1.20	2月1日桜木町の横浜ワールドポーターズに引っ越し 「県内のボランティア団体の実態と行政との協働に関する調査」を実施中 「日英市民社会交流プロジェクト報告書」発行! アフガニスタン関連 情報
2002.2.5	アリスセンターは引っ越ししました。NPOスクエアをオープンしました。 アリスセンター関連イベント紹介
2002.2.20	アリスセンター臨時総会のお知らせ(住所変更の定款変更) 浜岡原発運転差し止め仮処分裁判の原告になってください! アフガン空爆の現地調査報告 「基金21プラットホーム構想」についての提案をまとめました。 基金21プラットホーム構想についての意見交換会が開催されます。
2002.3.5	「勤労者ぼらんていあ・ねっと」に登録しませんか? 1万人の子育て提言プロジェクト報告書が発行されます フォーラム『落書き消しからのまちづくりを目指して』が開催されます。
2002.3.20	ごまめ通信舎2002年横浜市長選挙立候補予定者に対して公開アンケート かながわ・女のスペースみずら10年の記録「シェルター・女たちの危機」 を出版します。 基金21プラットホーム構想が具体化しつつあります。

2002.4.5	5/17 神奈川子ども未来ファンド 報告会を開催します！！ 「たあとる通信5号」4月19日発行です。 NPO インキュベーターオフィス入居者募集中！！ 4月1日より社会貢献定期預金「ろうきんNPOサポーターズ」がスタート
2002.4.20	神奈川子ども未来ファンドキャンペーン 5/3、5/4、5/5 モトスミ・プレーメン通り商店街でのペットボトル回収寄付 キャンペーン 5/17 神奈川子ども未来ファンドセミナー「対談 子育て問題・子どもの問題」
2002.5.20	5/17 神奈川子ども未来ファンド報告会約100名の参加！ 2001年勤労者マルチライフ支援事業報告書ができました。 5/24 有事法制に反対する5万人規模の集会在明治公園で開催予定！
2002.6.5	高齢者グループリビングCOCO湘南が「バリアフリー高齢者住宅 暮らしの提案書」を作成しました。 地域通貨に興味のある方へ（地域通貨、エコマネーの実践事例紹介）
2002.6.20	6月25日基金21協働会議開催 7月20日（土・祝日）NPOスクエアオープニングセレモニー開催！ 7月上旬たあとる通信6号が発行されます。
2002.7.5	7月20日（土・祝日）NPOスクエアオープニングセレモニー開催！ NPO法改正・税制はどのように変わるのか～かながわNPO法研究会学習会報告とお知らせ 「横浜市政・市議会をチェックする会」発足～横浜市議会2議員除名処分調査を開始 基金21協働会議の第1回目が6月25日に開催されました。
2002.7.20	9/7～9/8「市民セクター全国会議2002」が開催されます。 相模川河川整備計画の学習が始まる 神奈川子ども未来ファンド設立準備委員会続報 基金21協働会議の第1回目が6月25日に開催されました。

4. まちづくりに関する調査研究

(7) 勤労者マルチライフ支援事業(受託事業)

勤労者リフレッシュ事業振興財団からの受託事業。

勤労者のボランティア活動への参加意欲を喚起し、きっかけを作り、ボランティア活動を希望する人をボランティア活動に結びつけるシステムづくりを行う事業です。神奈川県を含め全国10地区で行われています。

2001年度は、プロジェクトマネージャーを設置し、ボランティア受け入れ団体を対象としたアンケート・ヒアリングの実施、ボランティア活動プログラムの実施、ボランティア活動プログラムの情報収集と提供、の各事業を行いました。

ボランティア活動プログラムとしては、森づくり講座、自然観察、「仮想企業人对ボランティア戦略会議」などを実施しました。

【報告書】

「マルチライフの森特別号～2001年度勤労者マルチライフ支援事業報告書～」

(8) 市民活動実態調査(受託事業) (神奈川県内のボランタリー団体の実態と行政との協働に関する調査)

かながわ県民活動サポートセンターからの受託事業(2001年9月～2002年3月実施)

県民活動サポートセンターやアリスセンターがもっていた県内のボランタリー団体のリスト等に加え、各自治体や社会福祉協議会などの協力を得て、県内6888団体を対象に、活動や組織の状況と協働に関する意向について答えてもらうアンケート調査を実施し、2762団体(回収率40.1%)から回答を得ました。

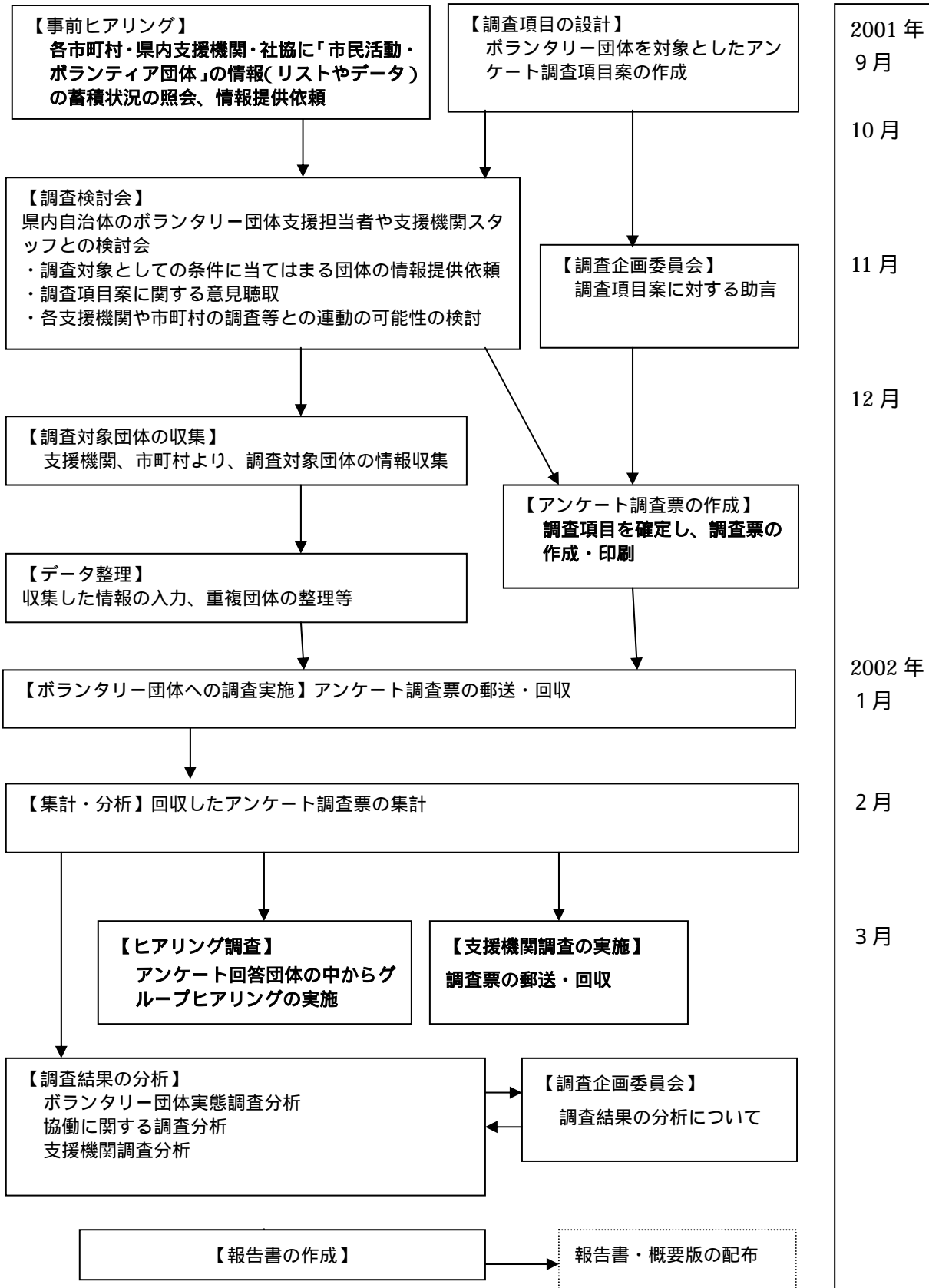
また、同時に県民活動サポートセンターのデータベースに掲載されている公設公営、公設民営(市民営)の支援機関、アリスセンターが把握している民設民営のNPO支援組織に対して、支援の内容や協働に向けた取組みについてのアンケート調査も行いました。

この事業は、緊急地域雇用特別対策事業でもあり、受託した事業の実施にあたっては、6ヶ月未満の新規雇用を行うことがとしての義務づけられていました。そこで、アンケート調査の入力、集計を中心に、2001年11月から2002年3月にかけて、インターネット公募、ハローワークでの募集を含めた新規雇用を行いました。

【報告書】

- ・神奈川県内のボランタリー団体の実態と行政との協働に関する調査報告書
- ・神奈川県内のボランタリー団体の実態と行政との協働に関する調査報告書概要版
ともに、委託元であるかながわ県民活動サポートセンターから発行
- ・たあとる通信6号「『神奈川県内のボランタリー団体の実態と行政との協働に関する調査報告』を読む～受託調査結果の独自分析と提言」

【調査フロー】



5. まちづくりに関する講座・研修等の企画・運営

(9) 保土ヶ谷区男性ボランティア養成講座(受託事業)

保土ヶ谷区地域福祉課からの受託事業。

講座名「おやじが地域に帰るとき」

日時：2001年10月13日(土)～27日(土)全3回

会場：横浜ビジネスパークイーストタワー

プログラム

10月13日 「男たちの連帯と創造の場を！」(講師：「じゃおクラブ」守永英輔氏)

10月20日 「急がず、慌てず、無理をせず！」(講師：「男の出番」白井寛氏)

10月27日 「地域はあなたを待っている！」(講師：アリスセンター)

6. まちづくりに関する資料等の発行

(10)「たあとる通信」の発行

2000年度に創刊した季刊誌「たあとる通信」(数十ページ、会員へは郵送、非会員へは1,000円で頒布)の4号から7号を発行しました。2月の引っ越し作業等で、5号、6号が7月の発行となりました。

会員以外からの注文が今年度に入って増加してきました。特に全国のNPO支援センター、行政、コンサルタント、学者からの購読希望が目立ちます。神奈川県内の市民やNPOへのPRが課題となっています。

【2001年度における各号の頒布冊数】(年度内に入金があったもの)

2000年度発行分		2001年度発行分	
1号	26冊	4号	113冊
2号	44冊	5号	66冊
3号	145冊	6号	16冊
		7号	0冊

【たあとる通信内容一覧】

<p>4号 2001.11.5 発行</p>	<p>特集「かながわボランティア活動推進基金 21 ~ NPOと行政の協働をめぐる実践的政策提言の中間報告」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの経過報告 2. 紙上セッション 響庭伸(アリスセンター理事長) / 椎野修平(かながわ県民活動サポートセンター) / 世古一穂(NPO研修・情報センター代表理事) 3. 基金 21 審査員辞任に際しての文書公表 ミニ特集「NPOと自治体が協働する仕組みをさぐる」 <ol style="list-style-type: none"> 1. 委託、補助、負担をめぐるNPOと自治体の関係~自治体の予算制度の視点から 熊澤隆志(市民セクター支援研究会幹事) 2. アメリカのコミュニティ開発包括補助金制度に見るNPOと行政の協働 川村研治(アリスセンター理事) 3. イギリスの自治体とボランティアセクターのパートナーシップをかいまみる~なぜイギリスで『コンパクト』が必要なのか 川崎あや(アリスセンター事務局長)
<p>5号 2002.4.19 発行</p>	<p>特集「非営利セクターにおける雇用・就労~NPOと雇用創出を考える」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「NPOによる雇用創出」~何をNPOに期待するのか 川崎あや(アリスセンター事務局長) 2. 非営利セクターを新しい職域とするために~神奈川県緊急地域雇用特別対策事業から 3. 中間支援組織の取り組み ・日本NPOセンター 事務局長 田尻佳史氏 ・NPOサポートセンター 代表 山岸秀雄氏 4. 非営利セクターが創り出す新しい働き方 ・「企業人が循環する場」特定非営利活動法人JAHDS(人道目的のために地雷除去支援の会) ・「不登校・引きこもり経験者の働く場づくり」コロンブスアカデミー
<p>6号 2002.7.15 発行</p>	<p>特集「『神奈川県内のボランティア団体の実態と行政との協働に関する調査報告』を読む~受託調査結果の独自分析と提言」</p> <p>巻頭言 市民活動の海へ(アリスセンター理事 菅原敏夫)</p> <p>第1章 調査の概要</p> <p>第2章 神奈川県内のボランティア団体の実態調査</p> <p>第3章 ボランティア団体と行政の協働に関する調査</p> <p>第4章 神奈川県内の支援機関調査</p> <p>資料編 市民活動実態調査 委託契約書・仕様書・見積書</p>
<p>7号 2002.7.31 発行</p>	<p>特集「NPOのオフィスシェアリング~空間の共有からNPO文化の創造へ」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 巻頭言 NPO スクエア始動(アリスセンター理事 川村研治) 2. NPO スクエアの可能性 NPO スクエアオープン記念講演 / NPO スクエアの入居者団体より 3. 各地のNPO オフィスシェアリング ひろしまNPOセンター共同事務所、大阪NPO プラザ、NPO プラザなごや、西永山複合施設、奈良NPOセンター(特別編) 4. アメリカのNPO オフィス事情(日本太平洋資料ネットワーク理事長 柏木宏) 5. 注目の動き 遊園地跡地利用問題(向ヶ丘遊園地跡地 / 横浜ドリームランド跡地) 横浜市議除名問題

7. まちづくりに関する講師等の派遣

(11) 講師等の派遣

【講師・パネリスト派遣先】

NPOフォーラムIN名古屋	神奈川県市町村振興協会研修
宮前保健所ボランティア講座	川崎「おやし考」講座
21世紀の学校VISION講座	横浜市保育室協議会NPO講座
神奈川県美しい環境作り推進協議会	川崎市民アカデミー
厚木ボランティアフェスティバル	市民戦略21「市民社会フォーラム」
有用労働研究会	政策研究大学院大学
宇都宮市民活動サポートセンター学習会	産能大学
生活クラブ川崎ブロック理事懇談会	川崎市市町村シンポジウム
通楽路フォーラムIN北区	日産労連「NPOとは何か」学習会
かながわNPOマネージメントカレッジ	NPOスタッフ研修IN神戸
相模原市博物館ミニシンポジウム	東京自治研センター講座
厚木市三田小学校で相模川についての学習会	
相模原自治研センター設立1周年自治研フォーラム	
不リースペースたまりば NPO法人化についての学習会	
市民セクターよこはま定例会ワークショップ	
山形県鶴岡市学習会「施設市民運営について」	
マルチライフボランティアコーディネーター養成セミナー	
市民活動センター神戸学習会「行政系基金のあり方」	
VISION21コーディネーター養成講座	

【委員会等】

平塚市市民活動支援条例検討委員会（綿引）
神奈川県PCB適性処理研究会（川嶋）
神奈川県衛生研究所機関評価委員会（川崎）
相模川水系土砂管理懇談会（川嶋）
ゆめコープ市民活動助成運営委員会（綿引）
国土交通省・文部科学省・厚生労働省「地域参加型居住推進方策検討委員会」（川崎）
神奈川県青少年研修センター「地域活動ハンドブック」専門部会（綿引）
神奈川産業廃棄物減量化等推進協議会（川嶋）
県民活動サポートセンター運営協議会（川崎）
藤沢市市民活動推進委員会（川崎）

8 . 市民団体等に対する支援・助成

(12) 相模川倶楽部事務局支援

これまでアリスセンターに事務局を置いていた「市民ネットワーク相模川」が「NPO法人相模川倶楽部」へと移行し、NPOスクエア内に机ひとつのスペースを構えました。アリスセンターでは、引き続き、相模川倶楽部の事業や事務局業務を支援してきました。

「市民ネットワーキング相模川」「相模川倶楽部」では、相模川流域の昆虫調査や不法投棄調査、平塚市が相模川河川敷に設置した相模川水辺の楽校を活用した「相模川サロン」や「川ガキ講座」、カワラノギク学習会、相模川の河川整備計画に関する学習会などを実施してきました。

(13) かながわNPO法研究会事務局

2000年度に引き続き、NPO法やNPO支援税制への取り組みを中心に県内のNPO法人、法人化をめざす団体を支援する「かながわNPO法研究会」の事務局を担いましたが、2001年夏から2002年5月までの間は、研究会の中心メンバーが基金21に関する提言活動等に追われ、研究会活動が休止状態となりました。

2002年6月から活動を再開し、NPO法改正・NPO支援税制についての学習会(6月)、認定NPO法人についての学習会(7月)、税制・税務についての学習会(7月・8月)を実施しました。

9 . その他

(14) NPOスクエアの開設

2002年2月に、横浜市中区新港2-2-1 横浜ワールドポーターズ6階の約60坪のスペースに、アリスセンターを含めた6団体が入居し、共同事務所「NPOスクエア」を開設しました。NPOスクエア内には、2坪~20坪の各団体の事務所の他、机ひとつを6団体に貸し、NPOの起業支援を行う「スモールオフィス」を設けました。

横浜ワールドポーターズは㈱インポートマートが運営する商業施設であり、ハートビル法にもとづいたバリアフリーの施設です。NPOスクエアを開設することで、NPO間の連携とともに、商業施設とNPOの連携を試みることにまいります。

2002年7月までに、12団体(うち2団体はスモールオフィス)が入居し、7月20日には、入居団体共催で「NPOスクエアオープン記念講演会&交流会」を開催し、約100名の参加がありました。

【NPOスクエア入居団体】

横浜未来街づくりラボ

世界に向けて元気に情報発信する港町「横浜」の街づくりを実践型で研究する非営利のラボ(研究機関)。市民活動のさまざまなニーズと才能あるクリエイターのマッチング事業『クリエイティブ・サポート横浜』プロジェクトも進行中。

特定非営利活動法人 相模川倶楽部(CNS)

1995年市民ネットワーク・相模川として発足。2001年にNPO法人格を取得。相模川流域で活動する市民活動の情報収集と提供、馬入水辺の楽校の川ガキ講座や、相模川サロン、不法投棄調査などを行っています。

市民セクターよこはま

1999年発足、ボランティア団体・NPO法人・企業・支援機関・個人が参加するネットワーク組織です。地域の中で市民が共に生き、共に支えあえるまち・社会をめざしています。ボランティア・NPOの相互支援、相談事業、情報提供、提言活動、行政・企業・市民の協働事業(セミナー実施等)、ユニバーサルデザインの商品開発と販売等を行っています。

横浜移動サービス協議会

あらゆる人にとって、「移動」とはすなわち「生きること」であるとの理念にたって、移動サービスを必要とする当事者、地域で活動するNPO・ボランティア団体、作業所などがネットワークを組んで、議題の解決に取り組んでいます。今年度特に力を入れているのは、移動サービス確保が簡単・スムーズに行えるよう協議会が窓口になり、電話一本で、サービス提供団体を調整するという「センター構想」です。実現に向けてのさらなる知恵と力を必要としています。(新会員募集中)

企業組合ピアネットe工房

障害者の自立と社会参加を目指す任意団体「ピアネット」から2000年に独立。通勤が困難な人が共に助け合ってホームページ製作代行、データ入力、パソコンの操作指導などの事業を行っています。

特定非営利活動法人FCT 市民のメディア・フォーラム

1977年の創設以来、職業的立場や社会的地位を超えて、市民としてメディアをめぐる多様な問題について語り合い、実証的研究と実践的活動を積み重ねるためのひろば(フォーラム)として機能してきました。なかでもメディア・リテラシーの研究と実践はその活動の中心をなしています。

日本ドイツワイン協会連合会

日本国内におけるドイツワインの啓蒙と普及活動のため1980年設立された非営利の団体で、現在全国17箇所に支部があり、誰でも参加することができます。

横浜市障害者自立生活支援センター

ピアカウンセリング、自立生活講座、リーダー養成講座などを主催、さらに横浜市に財政補助の要望をつづけています。

シーエストレディング合資会社

化石燃料の省エネルギー機器、ゴミ処理をはじめとした環境改善機器の販売および設置等のコンサルティングを行います。さらに企業とNPOが有効な形でコラボレートしていくためにも、企業もNPOもその糸口を見つける場が必要となってきているので、その場の提供とマッチングのためのコンサルティング広く行っていきます。

ハートランド

電話相談、面談カウンセリング、心理講座の開催を行います。愚痴・悩みを聞いて欲しい方は電話相談、じっくりと話を聞いて欲しい方は面談、心理に興味のある方・勉強したい方は講座にご参加ください。

特定非営利活動法人(申請中)ひらり

高齢者や障害者の方に生きがいをもって生活できるような明るい地域社会の実現に向けて様々な情報を提供・発信していきます。主な業務は相続や贈与等の税務相談、年金や資産の管理などのライフプラン相談、住宅改修(バリアフリー化)等の相談や紹介、外出サービスやシェア住宅等の情報提供など。今後は在宅福祉サービスの担い手として、外出支援サービスや家事のお手伝い、また介護事業者としてケアプランの作成やホームヘルプサービスを提供します。

(15) その他

「かながわNPOマネジメントカレッジ」共催団体への参加

2002年4月から6月に、神奈川福祉事業協会・神奈川県遊技場協同組合の主催で開催された「かながわNPOマネジメントカレッジ」に、県内の各支援センターとともに共催団体として参加しました。

「福祉の市民活動イエローページ2001活動種別団体一覧（横浜版）」の編集作業のとりまとめ（受託事業）

横浜市社会福祉協議会ボランティアセンターからの受託事業で、2000年度に実施した標記事業のとりまとめ作業を行いました。

横浜市環境月間実行委員会成果発表会の運営サポートのとりまとめ（受託事業）

横浜市からの受託事業で、2000年度に実施した標記事業のとりまとめ作業を行いました。

総会・理事会等、開催記録

総会

2001年度通常総会 9月28日、
臨時総会（移転に伴う定款変更） 3月14日、

2001年度理事会

第1回 2001年8月10日、第2回 9月5日、第3回 10月18日、第4回 11月27日、
第5回 12月11日、第6回 2002年1月18日、第7回 2月19日、第8回 4月25日、
第9回 5月29日、第11回 7月2日、第12回 7月24日

アリスセンター関連事業の報道一覧

【神奈川子ども未来ファンド関連】

2001年12月4日	神奈川新聞	設立準備委員会結成について
2002年2月15日	朝日新聞	設立準備委員会結成について
2002年4月22日	神奈川新聞	5月17日の「報告会」開催について（コラム欄）
2002年5月4日	読売新聞	5月3日～5日の川崎モトスミ・プレーメン通り商店街でのキャンペーン活動について
2002年5月16日	神奈川新聞	5月17日の「報告会」開催について
2002年6月11日	東京新聞	5月17日の「報告会」内容について
2002年7月22日	神奈川新聞	ファンドづくりの意義について（コラム欄）
2002年8月1日	NHK朝のニュース首都圏版	神奈川子ども未来ファンドの活動紹介

【NPO スクエア関連】

2001年12月4日	神奈川新聞	入居NPO募集について
2002年1月30日	日本経済新聞	NPOスクエア開設について
2002年1月31日	日本経済新聞	NPOスクエア開設について
2002年2月15日	産経新聞	NPOスクエア開設について
2002年3月25日	神奈川新聞	NPOスクエア開設と神奈川子ども未来ファンド設立の取組みについて

【その他】

2002年7月9日	読売新聞	アリスセンターの活動について
2002年8月19日	神奈川新聞	「神奈川県内のボランティア団体の実態と行政との協働に関する調査報告書」について